スーパーファミコン® SHVC-NB

SUPER Famicom
LICENSED BY NINTENDO

NBA® ALL-STAR CHALLENGE™



取扱説明書（とりあつかいせつめいしょ）

Acclaim®

このたびは、スーパーファミコン用ゲームソフト「NBAオールスターチャレンジ」をお買い上げいただきまことにありがとうございました。ゲームを始める前に、この「取扱説明書」をお読みいただき、正しい使用方法でプレイをお楽しみください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

使用上のご注意

●ご使用後は、必ずACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

●テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。

●長時間ゲームをするときは、健康のため1時間～2時間 ごとに10分から15分の 小休止をしてください。

●精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管、強いショックを避けてください。また、絶対にカセットを分解しないでください。

●故障の原因となりますので、端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。。

●カセットをシンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。

●スーパーファミコンにプロジェクションテレビ（スクリーン投影方式のテレビ）を接続すると、残像現象（画面ヤケ）が生じますのでおやめください。

健康上の安全に関するご注意

疲れた状態や、連続して長時間にわたるプレイは、健康上好ましくありませんので避けてください。また、ごく稀に、強い光の刺激や、点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に、一時的に筋肉のけいれんや、意識の喪失等の症状を経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、テレビゲームをする前に必ず医師と相談してください。また、テレビゲームをしていて、このような症状が起きた場合には、ゲームを止め、医師の診察を受けてください。

もくじ

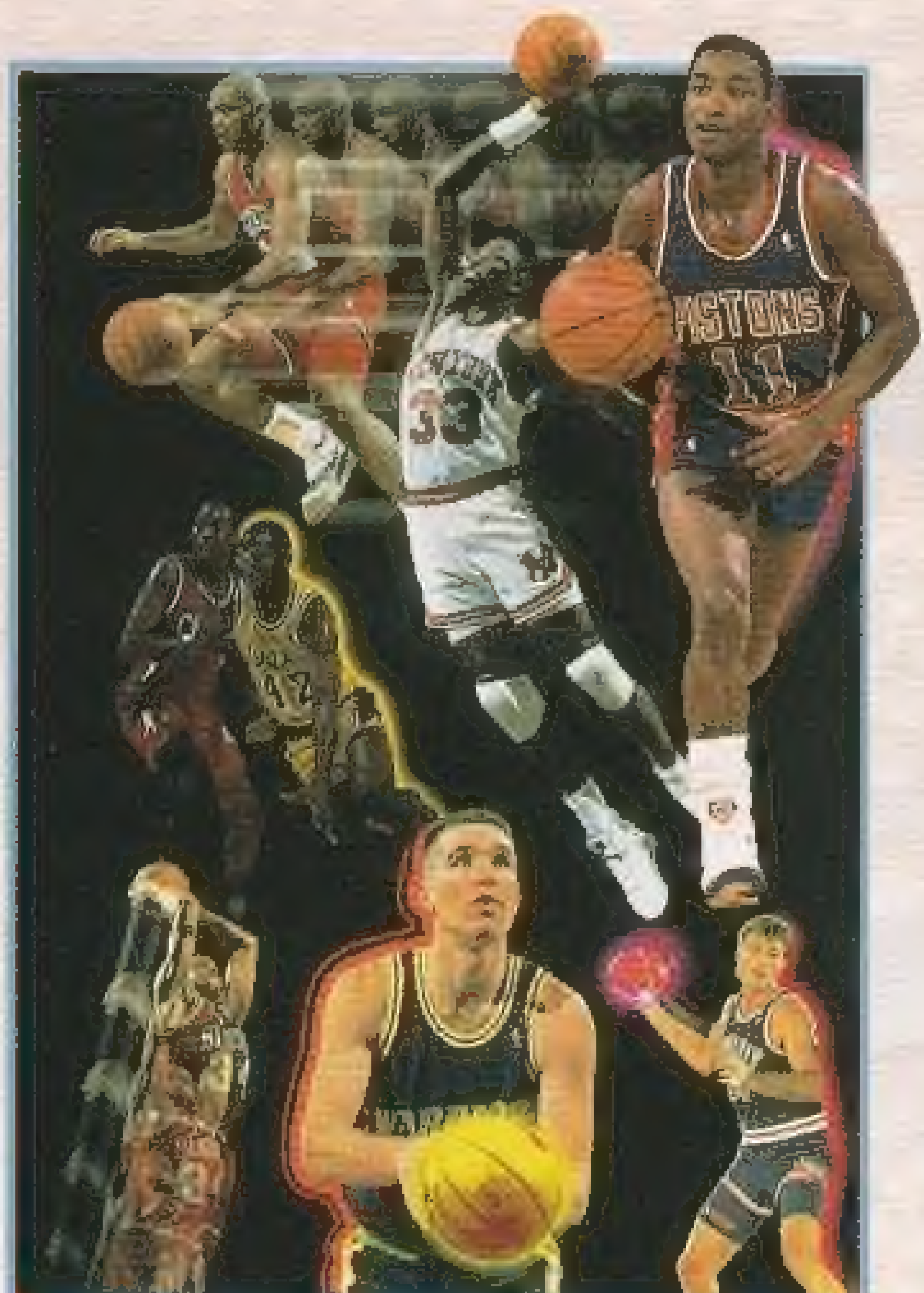
NBA各チームの選手データは、
'91～'92シーズン終了時点のものです。

ゲームの始め方

1.スーパーファミコン本体の電源スイッチが、OFFになっていることを確認してください。

2.NBAオールスター・チャレンジのゲームカセットをスーパーファミコンの本体に正しく差し込みます。

3.スーパーファミコン本体のパワースイッチをONにします。



シュートを決めろ…

心の準備はいいかい。ラリー・バード、デビッド・ロビンソン、マイケル・ジョーダン、ＮＢＡ最強の選手たちがキミの挑戦を楽しみに待ってるぞ。

このゲームには、ドレクスラー、マローン、ユーイング、マリン、トーマスなど、ＮＢＡ各チームから最高の選手が一人ずつ選抜されている。まさに最強中の最強の選手たちが勢揃いしてるってわけだ。キミは、彼らになりきってゲームを楽しむこともできるし、彼らに挑戦することもできる。世界屈指のバスケットボールの達人たちがキミの指先ひとつで思いのまま！
さぁ、いよいよ試合開始だ。

このゲームソフトには、次の５つの競技が用意されています。



1.ワン・オン・ワン（1対1）
2.フリースロー競技
3.スリーポイントシュート
4.H.O.R.S.E
5.ワン・オン・ワン（1対1）トーナメント

注意：この説明書には、一人でゲームをする場合についてのきまりが書いてあります。お友達と対戦する場合も、これとほとんど同じですが、お友達との対戦を楽しみたいときは、22ページの「２人対戦モードについて」を読んでください。

ワン・オン・ワン(1対1)

これは機敏さが要求されるとても厳しいハーフコート競技。この競技では、反則は取られますが、相手にボールが移るだけで、フリースローにはなりません。大勢の観衆が注目してるけど、決めるべきシュートはバッチリ決めて、接戦を展開していれば、彼らの罵声を浴びる心配はありません。肝心なのは、華麗にリングにボールを叩き込むこと、あるいは相手のシュートを絶妙にクリアすること。諦めは禁物。いかにボールを自分のモノにするかがこの競技の決め手。決してボールから目を離さず、とにかく果敢に動きまわろう。

フリースロー競技

もしキミが"コツ"を知ってたら教えて欲しい。これほど簡単なことはないような気がするのに、NBAのスーパースターたちでさえ、アマチュアと同じに見えてしまうくらい、うまく決まらないことがあるでしょ。自分とボールとリングだけ。つまり、邪魔する相手は誰もいないのに、どうしてうまくいかないのかなぁ。

スリーポイント・シュート

なかには“長距離弾”、“究極のアウトサイド・ショット”とも言えるこのシュートの“コツ”を、完全には身に付けていない人もいるようだけど、キミは納得いくまで練習してね。リングの周りでボールをさばくだけじゃ試合の醍醐味は半減だからね。このシュートは試合で最も重要なシュートであるばかりではなく、最も“ツキ”を必要とするシュートでもある。一途にゴールを狙うキミに幸運の女神が微笑めば…。



H.O.R.S.E

これはアメリカの学生たちが昔から親しんでる競技。普通の競技と同じように、ボールを持ってリングにシュートするだけ。シュートを決めたときは、相手にボールを手渡して（微笑みながら渡すとベター）お手並みを拝見。シュートに失敗するたびに、“H.O.R.S.E”から1文字が与えられます。5回シュートに失敗したら負け。そのときは、“象（ELEPHANT）”とか、“サイ（RHINOCEROS）”など、“H.O.R.S.E”で始まる何かのモノ真似をしなければなりません。

ワン・オン・ワン(1対1)トーナメント

これがこのソフトのすごいところ。現実の世界では実現できない"夢の対戦"も思い通りにかなう。バード対マローン、ユーイング対ロビンソン、ジョーダン対誰か、とかね。さあ、たった独りの戦いが始まるぞ！一回戦で負けて、次回に幸運を期待しながら荷物をまとめて故郷に帰るなんてことのないように(もちろん次回があればの話だけど)。

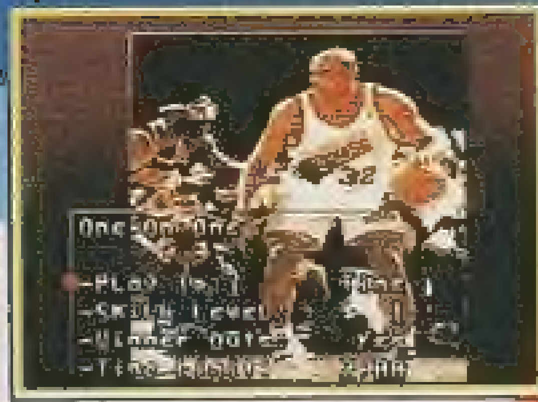
競技の選び方

・十字ボタンの上下キーでプレーしたい競技にボールのマークを移動させます。

・セレクトボタンかスタートボタンを押します。

自動的に選んだ競技の画面に切り替わります。それぞれの競技の画面上に遊び方やルールのオプションが表示されますので、自由に設定してください。

ワン・オン・ワン



ワン・オン・ワン(1対1)/設定

・試合形式（Play to）：始めに、「制限時間制（Time）」か「得点先取制（Points）」かを十字ボタンの左右キーで選びます。

「制限時間制(Time)」を選んだ場合は、制限時間を設定します。十字ボタンの下キーで“Time Limit”にボールのマークを合わせ左右キーで2分、5分、8分、12分のいずれかを選びます。「得点先取制(Points)」を選んだ場合は、決勝得点を設定します（5点~95点。試合時間は無制限)。十字ボタンの下キーで“Points”にボールのマークを合わせ左右キーで選びます。

・技能レベル(Skill Level)：十字ボタンの上下キーで“Skill Level”にボールのマークを合わせ、左右キーで、1（やさしい）、2（普通）、3（難しい)のいずれかを選びます。

・ボールの所有権(Winner Outs)：どちらかの選手がシュートを決めたあと、相手に所有権を移す(Yes)か、シュートを決めた選手が続けてボールを所有する（No）かを決めます。十字ボタンの上下キーで“Winner Outs”にボールのマークを合わせます。左右キーで、“Yes”または“No”のどちらかを選びます。

設定が終了したら、スタートボタンかセレクトボタンを押します。「選手の選択」の画面に切り替わります。



J.R.
REID



PATRICK
EWING



DAVID
ROBINSON



HAKEEM
OLAJUWON



TONY
CAMPBELL



KARL
MALONE



SHAWN
KEMP



CLYDE
DREXLER



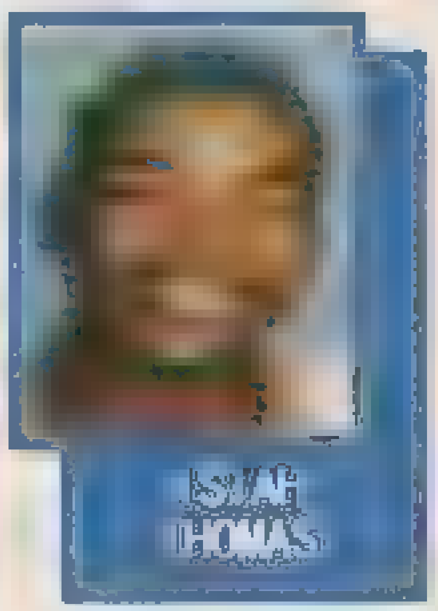
MITCH
RICHMOND


HERSHEY
HAWKINS


JAMES
WORTHY


DIKEMBE
MUTOMBO


ALVIN
ROBERTSON

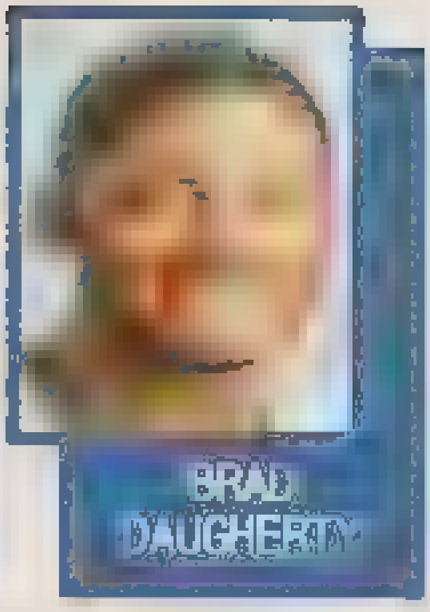

ISIAH
THOMAS

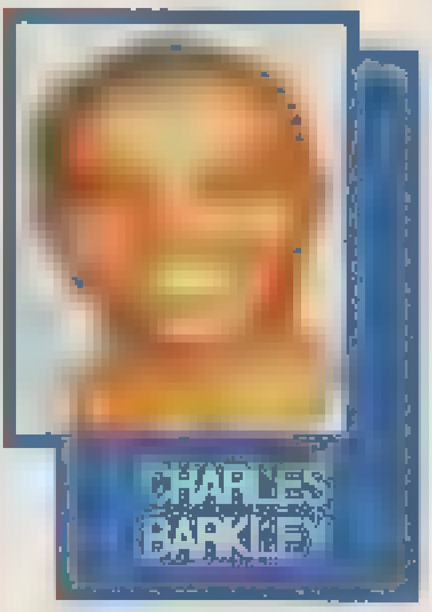

DANNY
MANNING

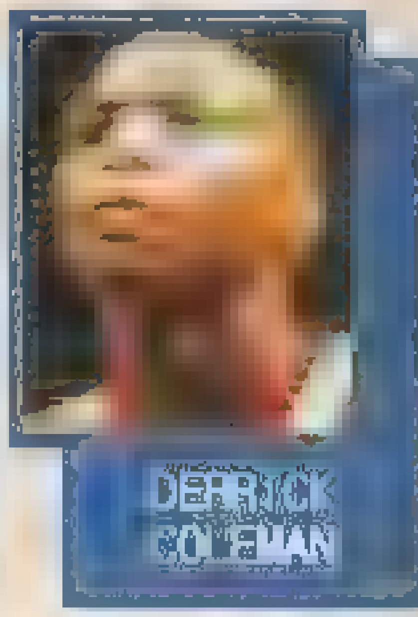
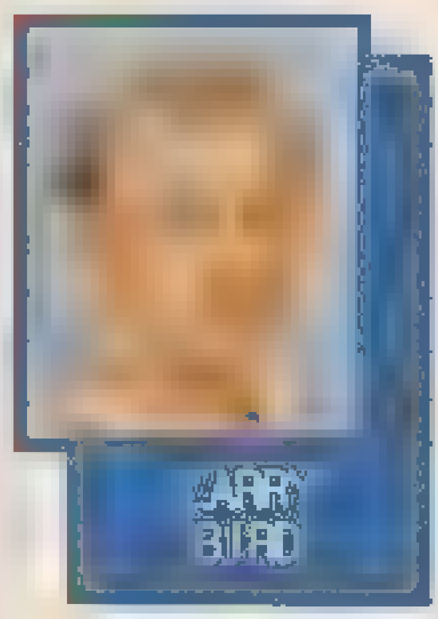

CHRIS
MULLIN


MICHAEL
JORDAN


BERNARD
KING


REGGIE
MILLER

BRAD
DAUGHERTY

DOMINIQUE
WILKINS

CHARLES
BARKLEY

RONY
SEIKALY

DERRICK
COLEMAN

LARRY
BIRD

DEREK
HARPER

SCOTT
SKILES

選手の選び方

NBA全27チームから各チームを代表する選手がひとりずつ選ばれています。各選手の写真、チーム名とロゴ、年鑑からの抜粋データが表示されます。自分がコントロールする選手と対戦する選手を選んでください。



NBAの全チームのリストが表示されます。リストはディビジョンごとに分割されています。十字ボタンの上下キーで全27チームの間をスクロールすることができます。希望のチームにボールのマークを合わせます。スタートボタンかセレクトボタンを押すと、自分がコントロールする選手のプロフィールが表示されます。スタートボタンでその選手を選択、セレクトボタンでキャンセルできます(チームリスト表示に戻る)。自分側の選手が決まったら、次は相手のチームを選んでください。選び方は同じです。相手の選手のプロフィールが表示されます。スタートボタンかセレクトボタンを押してください。

注意：選手の選び方は5つの競技に共通です。

ワン・オン・ワン（1対1）/遊び方



画面には、ハーフコート上の、ボールを持った自分側の選手（2人対戦時はプレーヤー1）、守備側の相手の選手（2人対戦時はプレーヤー2）表示されます。ホイッスルで試合開始です。

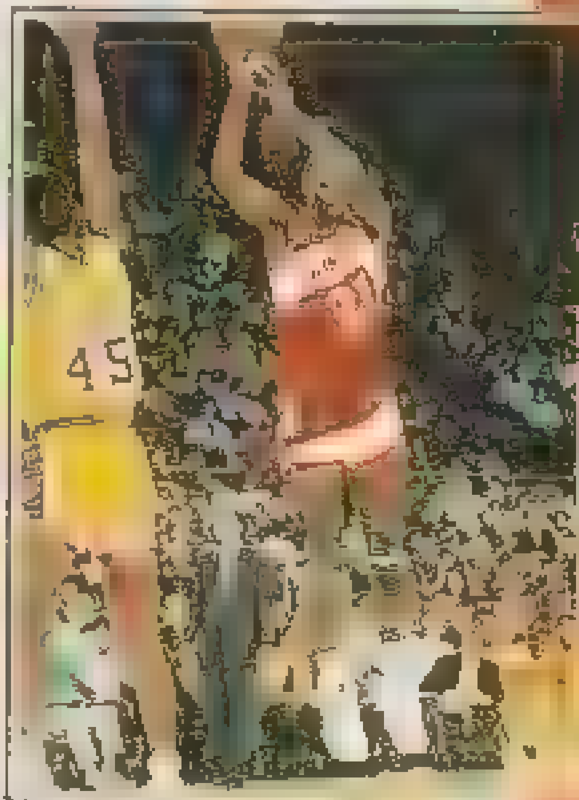


攻撃のしかた

十字ボタンのすべてのキーを操作して、コートを縦横無尽に動き回ってください。

ジャンプショット：Aボタンを押すとジャンプします。

ジャンプしている間に再びAボタンを押すとシュートします。シュートをせずにボールを持ったまま着地してしまうと"トラベリング"を取られます。



スラムダンク：Xボタンを押すとジャンプします。ジャンプしている間に再びXボタンを押すと豪快にスラムダンクを決めることができます。スラムダンクはリングから離れたところからも決めることができますが、距離は各選手の能力に応じて決まります。

注意：ジャンプしたとき、高い位置でシュートするほど飛距離は長くなります。

守備のしかた

十字ボタンのすべてのキーを操作して、コートを縦横無尽に動き回ってください。

ブロック：攻撃側のシュートにタイミングを合わせて、Aボタンを押します。

スティール：相手に近づきY、ボタンを押すと相手からボールを奪うことができます。

反則

試合中、以下の反則を取られることがあります。

- チャージング（ボールを持っているかどうかにかかわらず、進んでいる相手に無理に当たった）
- ブロッキング（腕や肩あるいは膝などを突き出して相手の進行を妨げた）
- トラベリング（ボールを持ったまま２歩以上歩いた）
- ディドゥント・クリア・ザ・ボール（相手がシュートミスをして、そのボールを取ったときに、一度もスリーポイントラインから出ないでシュートした）
- タイム・バイオレーション（ボールを所有してから24秒以内にシュートしなかった）

反則を取られると、通常のゲーム同様ボールの所有権が相手に移動します。

フリースロー競技

フリースロー競技／設定

シュート回数："Number Of Throws"にボールのマークを合わせます。十字ボタンの左右キーでシュートの回数を決めます。5,10,20,30回に設定できます。

技能レベル：ワン・オン・ワンと同じです。6ページを参照。

スタートボタンまたはセレクトボタンを押すと、選手選択の画面が表示されます。選手の選び方はワン・オン・ワンと同じです。10ページをご覧ください。

フリースロー競技/遊び方

ファウルライン上に自分の選手が表示され、リング付近には白い十字カーソルが表示されます。



白い十字カーソルは常に移動しています。このカーソルがベストポジション(リングの中央) にきたときが、シュートのタイミングです。このフリースロー競技は、ベストポイントを狙う技術と集中力が試される競技なのです。

Ａボタンを押すとシュートします。

スリーポイントシュート

スリーポイントシュート/設定



十字ボタンの左右キーを押して、練習（Warm - up）、試合（Contest)のどちらかを選びます。

練習：スリーポイントラインの外側の５ヶ所から５本ずつのシュートを打つことができます。制限時間はなく、守備側の選手もいません。普通の(茶色)ボールは１点、赤･白･ブルーの３色ボールは２点となります。

試合：練習とほとんど同じですが、60秒の時間制限があります。これを過ぎると対戦相手にシュートチャンスが移ります。

スタートボタンを押すと、チーム選択の画面が表示されます。チームの選び方はワン･オン･ワンと同じです。10ページをご覧ください。なお、試合(Contest)選択した場合は、自分側の選手だけでなく、相手側の選手も選びます。

スリーポイントシュート競技/遊び方



Ａボタンを押すとジャンプします。選手がジャンプしている間に再びＡボタンを押すとシュートします。

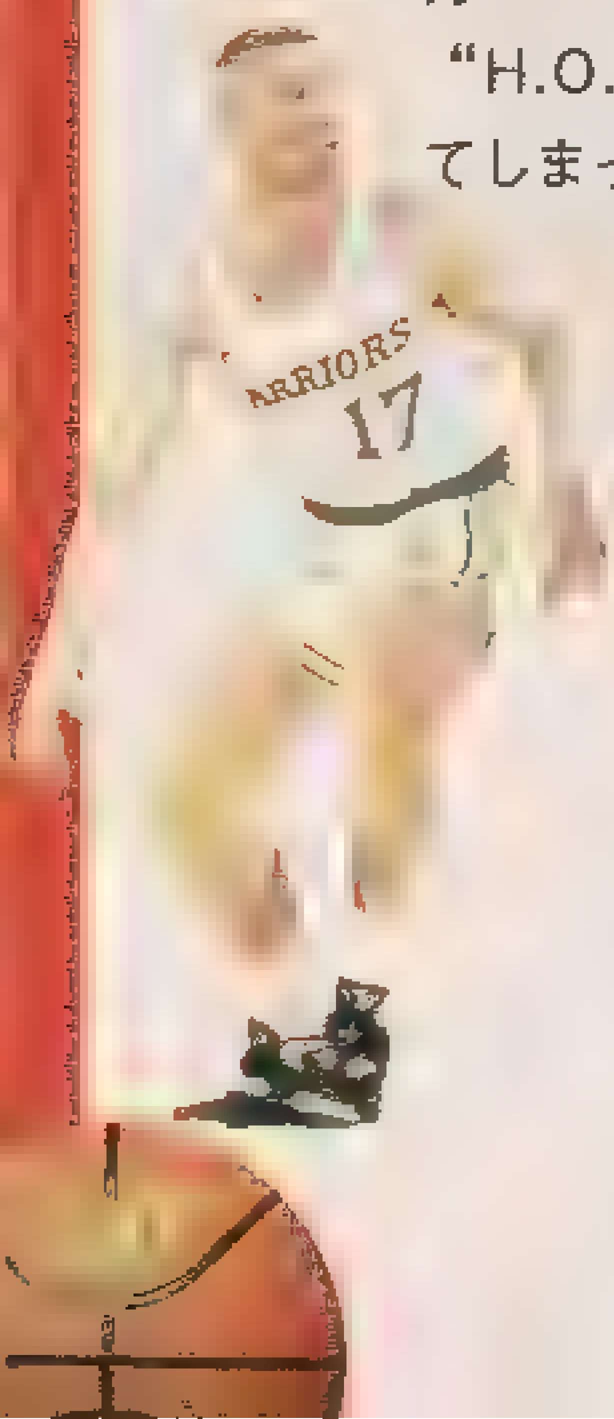
スコアボードにはキミの得点と、残り時間が表示されます。１本のシュートに時間をかけすぎると25本すべてをシュートすることができなくなります。だけどあせりは禁物。集中力を働かせ、リズムよくシュートする“感覚”をつかめばこっちのもの。



H.O.R.S.E

H.O.R.S.E/設定

この競技には特別な設定はありません。好きな場所からシュートするだけ。キミがシュートを決めると、相手は同じ場所からシュートしなければならない。相手がミスすると、相手側のスコアボードにH.O.R.S.Eの"H"が表示されます。キミがミスするとスコアボードには何も表示されず、先攻の権利が相手に移ります。相手がシュートに成功すると、こんどはキミが相手と同じ場所からシュートをしなければならない。ここでミスをするとH.O.R.S.Eの"H"がキミの方のスコアボードに表示されます。"H.O.R.S.E" すべての文字が先に揃ってしまった方が負け。



注意：シュートに成功すると、フロアに"X"マークが表示されます。次のプレーヤーはそこからシュートしなければなりません。

選手の選び方は、ワン・オン・ワンと同です。10ページをご覧ください。

H.O.R.S.E/遊び方

十字ボタンでシュートする場所を決めます。Aボタンを押すとジャンプします。選手がジャンプしている間に再びAボタンを押すとシュートを打ちます。



相手の選手も同じようにして、シュートを打ちます。先攻の選手がシュートを決めた場所に“X”マークが表示されます。後攻の選手がシュートに失敗すると、そのプレーヤーのスコアボードに“H”、もしくはO.R.S.Eの文字が順々に表示されます。後攻の選手がシュートに成功したときは、そのまま試合が続行されます。

ワン・オン・ワン(1対1)トーナメント

ワン・オン・ワン(1対1)トーナメント/設定

通常のワン・オン・ワンと同じです。6ページをご覧ください。

選手の選び方

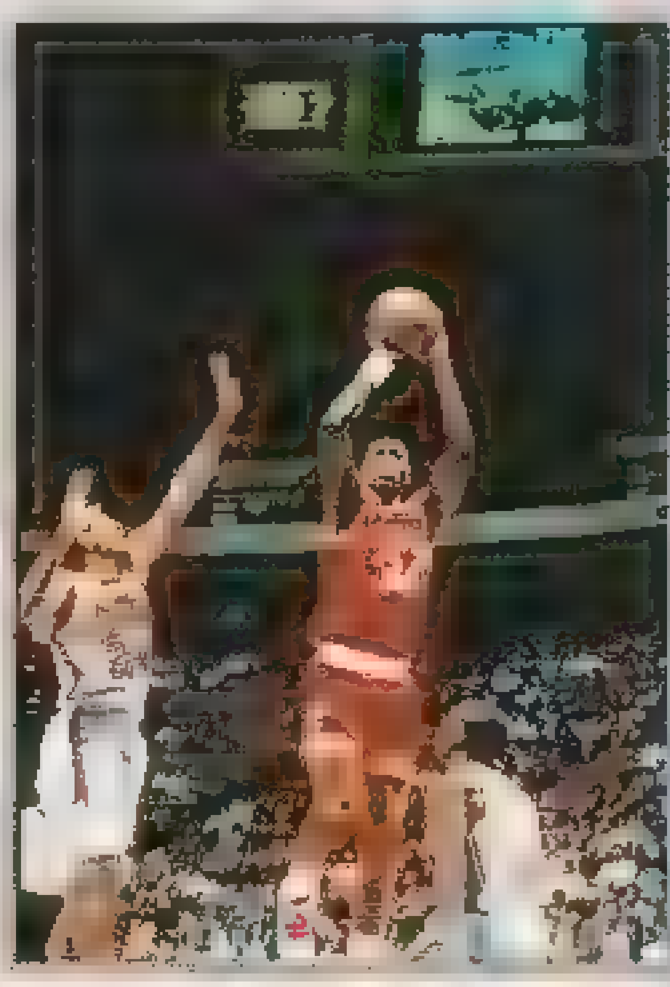
選手の選び方は通常のワン・オン・ワンと同じです。10ページをご覧ください。ただしトーナメントでは、自分側の選手を4人、相手側の選手を4人選びます。

選手をすべて選び終わったらスタートボタンを押します。画面に“トーナメント表”が表示されます。この表にはトーナメントに参加するすべての選手の名前が記載されています。自分側の4人の選手と相手側の4人の選手がそれぞれ順番に対戦することになります。対戦の順番は画面右側に表示されます。



ここでスタートボタンを押すと、第一試合のイントロダクション画面を経て、いよいよ試合開始です。

トーナメント/遊び方



トーナメントの第1ラウンドで4試合を戦います。それぞれの試合の勝者が表示されます。次の試合に進みたいときはスタート／セレクトボタンを押します。4試合すべてが終わると、次は第2ラウンドです。

第2ラウンドに進む4人の選手が、トーナメント表に表示されます。このとき、それぞれの試合で自分が操作したい選手を、十字ボタンの上下キー（選択）とスタート／セレクトボタン（決定）で選びます。選び終わったらスタートボタンを押します。

注意：このときスタート／セレクトボタンを押さずに、L／Rキーを押すと、トーナメント表を左右にスクロールさせることができます。

第2ラウンドも試合数が半分になる以外、操作は第1ラウンドと同じです。トーナメント表から決勝に進出する2人の選手のうち操作したい選手を選び、いよいよファイナル・ラウンドに進みます。

第2ランウンドと同じように操作したい選手を選び、スタートボタンを押します。この試合に勝てばトーナメントの優勝者です。

注意：1回のトーナメントでは、合計7試合が行われます。トーナメントをいくつか行い、それぞれのチャンピオンでトーナメントを組み、グランドチャンピオン大会を開いて“究極のチャンピオン”を決定するの面白いかもしれません。



2人対戦モードについて

このゲームは、誰かと２人で対戦することもできます。設定や操作のしかたは、次のような点を除いて、一人で遊ぶときとほとんど同じです。

フリースロー競技とH.O.R.S.E

２人対戦モードでは、ふたりのプレーヤーが１セットずつ交互にプレーします。プレーヤー1のセットが終わると自動的にプレーヤー２にボールが移ります。

プレーヤーズAIと選手の能力

ＮＢＡオールスターチャレンジでは、キミが最強・最高のスーパースター選手としてプレーを楽しむことができます。ゲーム中の選手たちの能力は、NBAの各選手の統計記録に基づく“プレーヤーズＡＩ”によって自動設定されています。たとえばスリーポイントシュートの成功確率の高い選手を選べば、それより確率の低い選手に比べ、平均的にスリーポイントシュートを決めやすくなるわけです。

各選手の１ゲーム当たりの平均得点数（PPG）と、フリースローの成功率が、その選手のシュート力を左右します。ただし、こうした選手の能力が正確に発揮されるのは、コンピューターが選手をコントロールしている場合です。ゲームプレーヤーが操作しているときは、ゲームプレーヤーのコントロールに応じた能力となります。

さぁ、ウォームアップ・ジャージを脱いで、試合開始に備えよう。熱く激しい対戦の火ぶたが、もうすぐ切って落とされようとしている！
これほどのＮＢＡのスーパースターが勢揃いすると、勝敗を予想することなんてできっこないよね。ひとつ言えることは、これから開始される対戦が未来にわたって史上最高のイベントだってこと。憧れのスーパースターたちと肩を並べられるように、キミ自身の手で道を切り開こう！

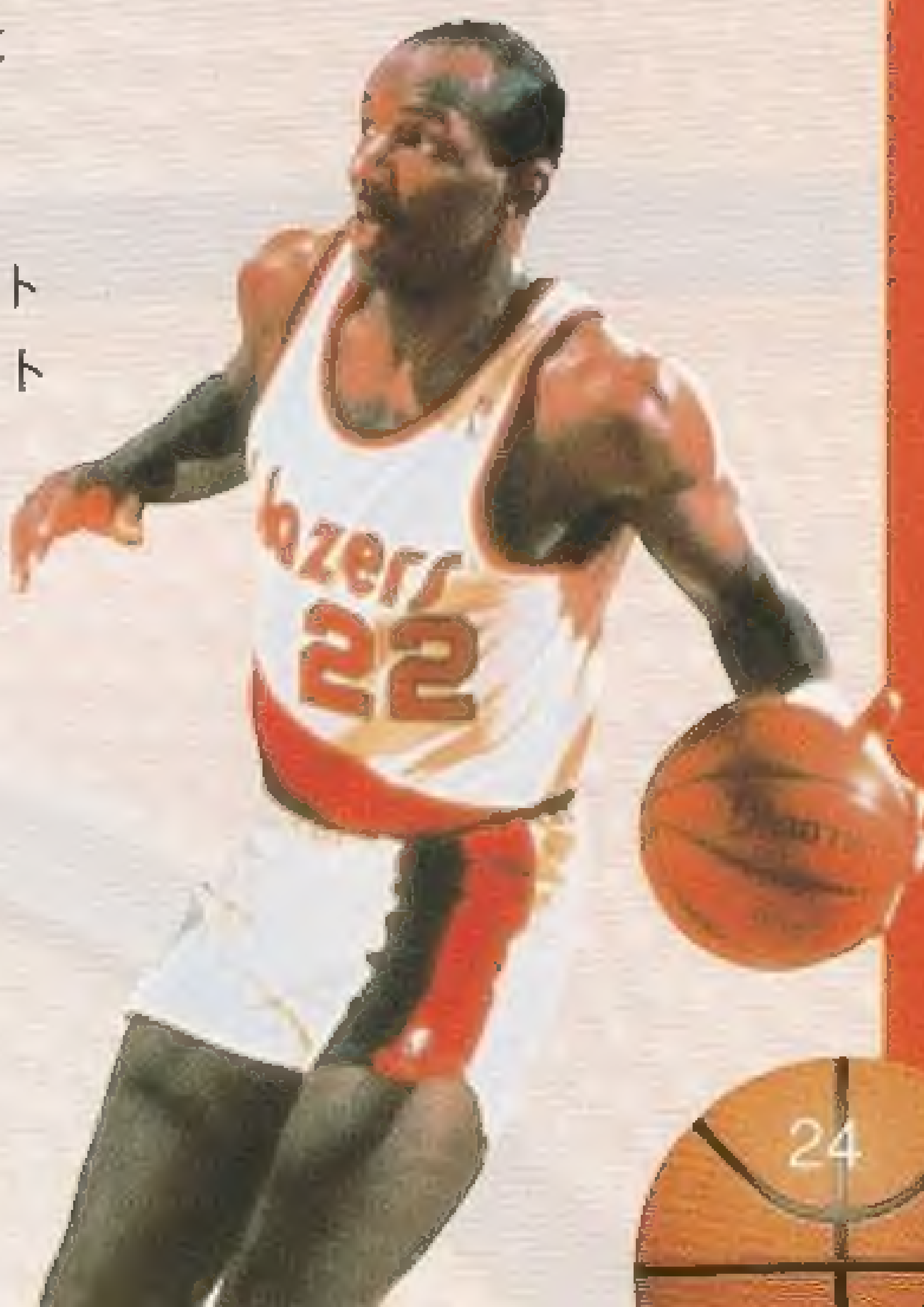


再試合(Rematch)

ワン・オン・ワン、スリーポイントシュート、H.O.R.S.Eでは再試合（Rematch）を行うことができます。試合が終わり勝者が表示される画面で、再試合をする“Yes”、または再試合をしない“No”、を十字ボタンの左右キーで選びます。いまどちらになっているかは画面の一番下の“Rematch:”のところに表示されます。

“Yes”にして、スタートボタンかセレクトボタンを押すと再試合が始まります。

“No”でスタートボタンかセレクトボタンを押すと競技を選択する画面に切り替わります。



お父さま、お母さまへ（必ずお読みください）

このたびは、㈱アクレイムジャパンの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。品質管理には万全を期しておりますが、万一お気づきの点がございましたら、ご面倒ですが、下記住所宛て、書面にてお送りください。なお、お送りの際は、住所、氏名（保護者）、電話番号と、お子様の名前、年令も必ずお知らせください。

株式会社アクレイムジャパン

東京都大田区蒲田5-28-4明治生命蒲田東ビル 〒144